

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市児童館（非公募）		
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団		
3 指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度 1,019,167人（前年度比 117.4%） ・ 令和2年度 868,143人 ・ 令和元年度 1,587,135人 	
	《事業》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業 	
5 収支の状況	《費用》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 2,022,226千円 (2,160,579千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 	
	《収入》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円) 	
6 利用者の声	《実施状況》	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施 	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。運営団体作成のマニュアルに加え、水の森児童館危機管理行動マニュアルも整備している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>【児童健全育成事業】「キッズリーダー会議」「わくわくスタッフ」など、子どもの主体的な活動の場を企画し、コロナ禍の制約がある中でも子どもたちの主体性や協調性を育みました。</p> <p>【子育て家庭支援事業】様々な施設の利用制限により、いつもの居場所を失いがちな乳幼児親子を対象に「合同ちびっこ運動会」「ちびっこ広場」など近隣館連携開催により発達段階に応じた活動や保護者どうしの交流の場を提供し、それぞれの地域の児童館の利用にもつながりました。</p> <p>【地域交流推進事業】「手話ソングクラブ」「柳生和紙でランタンづくり」「和楽器音楽クラブ」など、地域の人材を活用した事業を展開し、子どもたち以上にイキイキとした大人たちの姿もありました。</p> <p>【放課後児童健全育成事業】感染症拡大防止に努めながら児童クラブだよりやウェブサイトで日頃の子どもたちの様子や児童館の取組を写真付きで紹介し、保護者の安心感につなげました。</p> <p>【その他】財団設立30周年記念事業の一つとして、これまで開催してきた「児童館フォーラム」と「市民センターフォーラム」の合同企画、「ひと☆まちまちづくりフォーラム 2022～imagination & creation 地域と共に～」を令和4年2月27日（日）にせんだいメディアテークで開催しました。第1部は、児童館・市民センター・文化センターの地域事業事例発表、第2部は、これからの地域施設の役割を考えるパネルトークを行い、広く市民の皆さまと共に学び・考える場としました。会場には児童館工作遊び体験コーナーを設け親子の来場者に遊びを通して児童館事業を理解いただき利用促進のためのPRを図りました。子どもが保護者に遊び方を教える姿も見られました。以上のことから各館の地域における事業展開と財団全体の事業展開により、コロナ禍において利用や事業が制約される中でも児童館機能の維持が図られたと評価しています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置などの発令があったが、児童クラブに関しては、年間を通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部休止していたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>施設の管理運営については、指定管理者が策定した全館共通の各種マニュアルなどにに基づき適切に行われ、いずれの館も必要な水準を満たしている。施設や設備の維持管理も日々確実に行われており、利用者が安全安心かつ快適に過ごせる環境を整えている。</p> <p>児童健全育成事業では、各児童館において、地域の実情に応じて感染対策を徹底しながら地域人材や周辺環境などの資源を有効に活用し、状況を見ながら事業を展開している。運動遊び、自然体験、社会体験、近隣の施設との連携事業などを通して、地域交流や世代間交流を図り、様々な体験を通して子ども達が心身ともに豊かに成長できる機会を多く作り、地域の子どもにとって居心地の良い活動場所になるよう努めている。</p> <p>子育て家庭支援事業では、コロナ禍の中で様々な制限がある中、工夫した行事開催や日々の利用を通じて、乳幼児の情緒や健康な身体への発達を促すとともに、保護者同士の交流や情報提供、相談の場などを提供している。また、子育て支援施設、地域の諸団体、行政機関などと連携し子育て家庭を見守る支援ネットワークの構築に取り組んでいる。</p> <p>いずれの館においても、全ての事業について安定したサービスを提供しつつ、新規利用者の増加や利用者の満足度向上に向けて、常に新たな行事などの検討や課題点の改善などに取り組んでいる。今後も、それぞれの地域特性や子どもの興味関心を捉えた日常プログラムや行事の展開など、更なる児童館事業の充実が期待できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課